



社会医療法人近森会

発行 ● 2012年8月25日

びろっぱ

9

Vol.314

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

集中病棟の新オープン！

先進的なシステムを 随所に導入して

ICU 看護師長
工藤 淑恵

救命救急病棟看護師長
町田 清史

近森病院集中治療部
シニア看護師長 西本 清香



様々な職種が集まるスタッフステーション



5カ年計画の一つとして、救命救急病棟、ICUが、8月18日に新館4階に引っ越ししました。

今まで、ICU、CCU(ハートセンター)、救命救急センターと分かれて機能していた3病棟が5カ年計画の一つとして一時的に救命救急センターとICUの2病棟になりました。それに伴い、看護の強化をはかるべく2:1の看護体制をとっていた病床が24床から36床になりました。

ベッド数を減らして看護の配置基準をあげ、ER部門からの重症患者さんは救命救急病棟で、病棟からはICUへ受け入れることを基本としてオープンしました。引っ越し後入室に関わる多少の混乱はありましたが、現在では、やっと落ち着きつつあります。

今回の5カ年計画として、高度な医療を提供すべく、集中治療部部長である心臓血管外科の入江部長の指導の元、スタッフのレベルアップと設備の充実を図ってきました。3病棟のスタッフが、2病棟になり再編成されることにより、看護の質の保証や安全を保つため、4年前より着実に、ローテーションや、マニュアル整備・業務の統一、勉強会の開催など準備をおこなってきました。

設備面では、海外の先進的病院の良いところを取り入れた構造となっており、個室は16床で、全体的に広々

としたスペースを取り入れています。モニターや1患者さんに1台の電子カルテの配置など随所に工夫がこらされており、患者さんの安全を優先し、なおかつ、医師や看護師だけでなくメディカルスタッフも働きやすいチーム医療に適した環境となっています。

まだまだ、オープンしたばかりの新病棟ですが、スタッフ一同、力をあわせて頑張っていますのでよろしくお願ひします。

にしもと きよか



2対1看護に適した設備

「新シリーズ！」 メディカルスタッフ・ワークウェア 3

●PT モデルは左から入野稔也さん、篠岡隆志さん、田村幸太郎さん



PTは中枢神経系Aチーム、骨関節・消化器系Bチーム、循環器系Cチームに分かれていて、患者さんの評価やトレーニングに必要な物品をポケットに入れて持ち歩いている。リハビリ実施時間の記載用紙、朝のカンファレンス伝達時にまとめた患者さんのスケジュール。

電卓は筋力や運動強度の計算などに使用し、角度計は関節の可動域を測る。歩行スピードの計測や、時間内にどれくらい歩けるかなどを評価する際に使うストップウォッチなど。

聴診器や血圧計、パルスオキシメーターでその日の患者さんの状態を確認し、疲れ度合いを表に示された数字で把握しながら、病状に合わせたリハビリを実施する。車椅子のネジを締め直すための工具や、訓練時に病衣がはだけないように洗濯バサミをポケットに準備しておくなど、患者さんに寄り添う姿が目に見える。

血管造影室、内視鏡室など、 検査部門の移動



診療支援部部长
寺田 文彦

近森病院5カ年整備計画の5番目の建物、「近森病院新館」の改修工事が7月31日に完成しました。旧館の医療機能の移設を主な目的とし、血管造

お知らせ

◆第16回公開県民講座

ハートセンター10周年記念講演
日時：平成24年9月9日(日)

14:00～16:00(開場13:30)

場所：高知市文化プラザかるぼーと大ホール

講師：岡山大学学長森田潔先生

東京医科大学循環器内科主任教授

山科章先生

順天堂大学心臓血管外科教授天野篤先生

近森病院循環器科主任部長川井和哉

(順不同)

◆第102回地域医療講演会

～震災時の血液供給に関する講演会～
「広域災害時の危機管理

―東日本大震災を経験した課題と対策―

日時：平成24年9月15日(土)

14:00～16:00

場所：近森病院管理棟3階会議室

講師：東北ブロック血液センター所長

伊藤孝先生

◆第103回地域医療講演会

「慢性腎臓病(CKD)患者の薬物適正使用
～薬剤師にできること、

やらなければならないこと～

日時：平成24年9月21日(金)

19:00～21:00

場所：近森病院管理棟3階会議室

講師：熊本大学薬学部臨床薬理学分野教授

薬学部附属育薬フロンティアセンター長

日本腎臓病薬物療法学会理事長

平田純生先生

◆第104回地域医療講演会「心室頻拍ア
ップデート ―メカニズムと最新の治療法―

日時：2012年10月16日(火) 18:30～

会場：近森病院管理棟3階会議室

講師：東海大学医学部付属八王子病院

循環器内科教授 小林義典先生

◆第105回地域医療講演会

「ポストポリオ症候群対策の実際」

日時：平成24年10月19日(金)

17:30～19:00

場所：近森病院管理棟3階会議室2、3

講師：藤田保健衛生大学

坂文種報徳會病院リハビリテーション部

理学療法士 井元大介先生

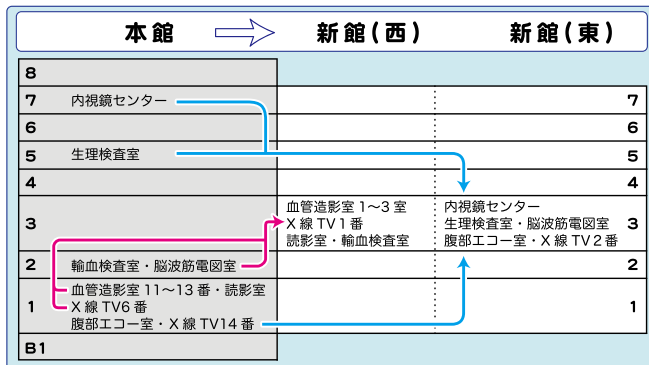
講師：藤田保健衛生大学医学部

リハビリテーション医学講座医師

沢田光思郎先生

影室、X線TV室、腹部エコー室、生理検査室、輸血検査室、内視鏡検査室、読影室が新館3階フロアへ移動し、検査機器の更新に伴い、より高精細な検査が可能となりました。

血管造影装置やX線TV装置は最新機種を導入し、近年増加している時間外・休日の緊急検査や難易度を要する治療や処置に十分対応できる環境を整えました。また、新館1階は救命救急センターの拡張に併せて一般撮影、CT室、MRI室の移設を機会に、機器



の更新を行い、年間5千4百台の救急車搬入と3万人のWalk-in患者さんの受付トリアージができる体制となりました。

引き続き9月より1年6カ月をかけて旧館の解体・免震工事を行い平成26年2月には新本館が完成し452床の高規格急性期病院となる予定です。今しばらくご不便やご迷惑をお掛けしますが、よろしくようお願い申し上げます。
てらだ ふみひこ

YOSAKOI テーマ「風」

踊り子のみなさん、スタッフの方々、その他ご協力して頂いた関係者の皆様お疲れ様でした。そして感動をありがとうございました。

風が吹きました!!

よさこい実行委員会代表
危機管理室長補佐
溝渕 克郎

今年のよさこい祭りは悪天候にも左右されず過去最高の197チームが参加し、私たちのチーム「ちかもり」も元気いっぱい踊りました。

代表として参加2年目の「ちかもり」は、参加人数や練習量も昨年より多く、「風」をテーマに力強い踊りや曲、衣装も素晴らしく、一丸となった医療人チームはお城下でエネルギーあふれる風となり観客に感動を与え、参加した皆さんもいつまでも心に残る楽しい思い出ができたのではないかと思います。 みぞぶち かつろう



松本 圭司

溝渕 克郎

最高のチームでした!

よさこい実行委員会事務局
医事課/地域医療連携室
松本 圭司

ちかもり3年目、スタッフとしても3年目。今まではサブスタッフでの活動でしたが、今年は実行委員として、テーマや目標検討からスタートし、全てに携わりました。少しでも踊り子が楽しみ、良い思い出が残るように、そして何よりもチーム一丸となって本番を迎えられるように何をしたら良いかいつも考えていました。周りのスタッフと意見を交わし、協力し支えあいながら進めていくことができました。受賞できなかったのは残念でしたが、どのチームにも負けない魅力的で力強い演舞は間違いなく「ちかもり」でした。よさこいを通じて、色々な人々と繋がりができました。この繋がりを大切に今後のチーム医療を頑張っていきたいと思います。 まつもと けいし



「あたご町商店街で熱演するチーム「ちかもり」」

● 医療今昔物語 ●

循環器科 4

ペースメーカー

近森病院循環器科部長
深谷 眞彦

心臓の人工ペースメーカー（以下PM）は一般の人たちにもよく知られている。PM 植込みを受けた首相や書記長が世界で活躍していたし、PM 植込みを受けて通常の社会生活を送ることができ、世界を飛び回っている人々も身近にいる。

私の学生の頃はこのPM 植込み治療の黎明期で、普及が始まったのは卒業後である。とはいえ、対象になるのは重症の患者さんに限られていた。母校の長崎大学6年生の1967年にPM 植込み第1号の患者さんがあり、臨床講義で勉強させていただいた。日本でもまだ何例目という患者さんであった。

第2号の患者さんは私が研修医の頃に、完全房室ブロックといって、心臓の拍動が非常に遅いだけでなく、頻回に停止する。先輩の先生方が緊急に体外式のPMを装着して急場をしのごうとしたが、当時は手造りに近い単純な構造のものしかなく、直ぐに心室細動という不整脈を誘発して役に立たな

かった。このため、数名の医師が夜を徹して交代で心停止の度に心臓マッサージを続け、私もこの時の一員として朝まで頑張った。翌朝、大阪から飛行機で植込み式の新型のPMが到着するまで頑張った。この患者さんはPM 植込み後お元気に仕事をされた。

PM内の電池が水銀電池からリチウム電池に代わってから、PMの長寿命化が急速に進行した。当初は電池寿命が30カ月程度であったものが、今では同程度の機能のPMなら10数年もつようになっている。また、PM本体



てきている。PM医療の著しい進歩があればこそ、いまはごく普通の治療の一つになっているのだろう。ふかたに まさひこ

PMの説明：上段は水銀電池のPM。左端は本文中の第2号の患者さんに使用されたPM。右へと順に機種が新しい。下段の左端はリチウム電池の最初期のPM。参考として右の端に最近のPMの模型。M社製品にそろえてみた

9月の歳時記

彼岸花

近森病院総務課広報
主任 鍵本 由紀

「暑さ寒さも彼岸まで」、朝晩が過ごしやすくなる9月中旬頃に鮮やかな花を咲かせる彼岸花。花を咲かすときには葉はなく、葉のあるときには花がない不思議な花です。花言葉は「悲しい思い出」と、日本では少しさびしいイメージのある花ですが、見た人を悪から離れさせる天界の花という一面もあります。鮮やかな真紅の花で気品と色気を兼ね備えた艶やかな花です。 かぎもと ゆき

絵・総務課広報担当
公文幸子



1975年



近森 正幸

このほど、本館の改築工事に伴って、集中治療棟が引っ越した。高度医療を行う集中治療棟の最初は、37年前の1975年（昭和50）5月、本館の南東にあった土地、建物を三谷組より購入し、その2階にICUをつくったのが始まりであった。

1987年（昭和62）の2月、本館増築棟3階でICUが使用開始となり、10年前の心臓血管外科開設とともに改造され、診療報酬上の正式なICUとなった。

37年も前から人工呼吸などの治療を要する重篤な患者さんを、一カ所に集めて集中的に治療し、落ち着けば一般病棟へという病棟連携を当時から行っていた。木造の2階でポータブルのレントゲンが入ると床がたわんだり、人工呼吸器はバードという従圧式の簡単なものだった。薬剤も限られ、医師も看護師も少なかった。それでもその時代で出来る精一杯のことをやっていた。

この8月18日、順調に集中治療棟が新館の4階に移転、救命救急病棟18床、ICU18床の合計36床となる。現在のICUは医療機器やモニターなどのハードの充実はもちろん、医師、看護師ばかりでなく、多くの医療専門職がそれぞれの視点で患者さんを診て、質の高いチーム医療を展開しており、そうしたコンセプトに基づいて、今回の集中治療棟が出来上がった。

ハード、ソフトが一新され、スタッフがやる気にあふれて活き活き働いている姿が、なにより嬉しい。

理事長・ちかもり まさゆき

職員旅行 ● 沖縄万座ビーチ

沖縄で 50 キロの磯マグロを釣り上げた衣笠先生

釣った魚は早速船上で、いただきます！



新シリーズ・ワイン講座 ● 3

ローヌ地方のワインについて



有限会社鬼田酒店
代表 鬼田 知明

A.O.C. ワインの栽培面積は約 79,000ha、赤・ロゼ・白合わせて年間生産量は約 3,320,000hℓ。ポルドーに次ぐフランス第 2 の A.O.C. ワインの産地です。

ラー種による豊かで力強い味わいの長期熟成型のワイン。白ワインはヴィオニエ種やマルサンヌ、ルーサンヌ種による香り豊かで個性的な味わいのもの。一方南部では多種多様なぶどうが栽培され、幾つかの品種をブレンドしてワインが造られています。

なかでもシャトーヌフ・デュ・パブ（法王の新しい城）の赤ワインには、13 種類もの、ぶどうを使うことが認められています。スパークリング、白、ロゼ、赤、デザートワインと様々なタイプのワインが造られる気候風土。TPO に合わせてセレクトすると、使い勝手の良い産地のワインです。

きだ ともあき

バラエティ豊かなローヌ地方のワイン。フランス第二の都市リヨンの南に位置し、この地方はヴィエンヌからアヴィニョンまで南北約 200km にわたり、ブルゴーニュ地方の南部から地中海沿岸にまで広がっています。

北部と南部では、気候や土壌、畑の環境も異なり、産み出されるワインの個性も大きく異なります。北部の赤ワインは、シ

そと

▶ 7月9日のプール開き
▼お誕生月のメニュー！



お弁当拝見 7 田舎のおばちゃんのお弁当！



近森リハビリテーション病院
シニア看護師長 増田 千恵



私のお弁当は、特別取り立てたものではありません。完全に高知の田舎のおばちゃん弁当です。今日のお弁当の内容は、梅漬け、紅ショウガ、スパサラ、イタダリの炒め物と高野豆腐、ごぼうのねじり天です。

梅漬けや紅ショウガは自家製です。スパサラのきゅうりも家庭菜園で作ったもの

です。自家製と書いているのは、正蓮寺に重倉という所があってそこに知り合いです。その方のご好意で畑を借りて野菜をつかったり、山菜を取ってきて塩漬にし冷凍しておいたり、梅をちぎってきて梅漬けにしたり、ショウガもその梅漬けの紫蘇のエキスに漬けこんだものです。

今日のお弁当には入っていませんが、

私の趣味 シャンソン

近森病院
北館5・6階病棟
看護師 中岡 久与



シャンソンとは、フランス語で「歌」のことで、歌全般を指し、特定のジャンルを意味するわけではありません。シャンソンが日本に伝わってまだ 70 年あまり。「それ何？」といわれることが多いです。

実は私ももともと音楽を聴くのは好きでしたが、ロックや R & B、ソウル、ブルース、ジャズなどで、シャンソンとは無縁でした。そんな私がシャンソンを始めたのは、あるワインバーで女性にナンパされ（笑）、練習に参加したのがきっかけです。

私の所属する「シャンテ・シャンソン・高知」は、年 2 回の定期コンサートを開催、各種イベントに参加しています。日常から離れてドレスアップして人前に出ること、ピアニストの方と一緒に 1 曲 1 曲を仕上げている楽しさは、仕事とは違う緊張感と達成感があり、癖になります。

美味しい食事とお酒といい音楽は、私の生活には必須。何よりもそこには素晴らしい出会いがあります。まだまだ駆け出しですが、これからも続けていきたいです。

なかおか ひさよ



ラッキョウもその方の島の岸にある物を取ってきて漬けるなど、むかし母がつくってくれた味が懐かしく、お弁当に詰めて持ってきています。 ますだ ちえ

看護師の 素顔と出会う場所

近森リハビリテーション病院
看護部長 寺山 みのり



を学んでいると、これまで実践してきた看護がキラキラ輝きだします。「あーやっぱり看護が好きだ!」「みんなちゃんと看護をしているじゃない!」と看護師である自分や、当院のリハ看護を確認して、エネルギーが湧いてきます。しばらくして、先ほどの看護師に会うと、「うれしいことがありました!」と、担当した患者さんが無事に在宅生活を送っている様子を伝えてくれました。

私にとって、仕事のあとの更衣室は、看護師の素顔と出会う場所です。その日の現場の出来事や、留守番をしている子供の話、夕食の話、そして時には、新人看護師が「自分のケアに患者さんが思ったように反応してくれない」と、泣きながら着替えをしている場面にも出くわします。更衣室には、看護師が看護を続けている本音(キラリ)がいっぱいあります。 寺らやま みのり

先日、仕事を終えたあとの更衣室で、2年目の看護師と一緒にになりました。彼女から声をかけてくれたので、今の心境や現場のことなど立ち話をしまし

ポリオ検診にさきがけて

第二部

近森病院リハビリテーション病院
リハビリテーション科科长
和田 恵美子



ポストポリオ症候群の診断基準はまず

ポリオの診断がついていることです。昔のことでわからない方も多いですが、小さいころに熱が出た後に麻痺がでて一時的に歩けなくなったという経過が多いです。成長後には足が左右で大きさがちがっていたり、足関節や足に変形が残っています。小さいころは装具を使っていた方が多いですが、装具を使わずに歩けるようになって成人後には装具を使わなくなったという方も多いです。

少なくとも15年位麻痺の進行がなく、落ち着いて生活がおくれているという方が、①普通でない疲労、②筋肉痛、③関節痛、④麻痺側や非麻痺側のあらたな筋力低下、⑤機能低下、⑥寒さに弱くなる、⑦新たな筋萎縮 という7つの症状のうち二つ以上の症状が出た場合に診断されます。

がんばって運動することでポストポリオ症候群が発症・進行する場合があります。運動量の調整や、適切な装具の作製、ストレッチなどの全身調整することが予防になります。

まずは現在の筋力や装具についての診察を受けることが必要です。ぜひポリオ検診会にご参加ください。

わだ えみこ

● ポリオ検診のお問い合わせは ●
近森リハビリテーション病院
医療相談室 川津 TEL.088-822-5231(代表)

た。その話の中に、母校の看護学校に立ち寄り、先生と話をしていると“キラキラしていた自分に戻る”という言葉ができました。過去形?と気になりながら話の続きを聞いていて、彼女が看護を実践しているからこそ、「看護とは……?’という問いに出会ったのだなと気づきました。

私がそのように感じたのは、私自身が今、大学院生として彼女と同じような体験をしているからかもしれません。私の場合は大学院で看護理論など

院外エッセイ

「ガッコウヘクルナ」

澤田 智恵 (ちえ)

1938(昭和13)年、安芸市生まれ。高知県の公立小中学校の教員を務め定年退職。中学校カウンセラー、人権擁護委員、高知市教育委員長など歴任。SPACEの会



クリーンキャンペーン、布師田駅周辺

履歴書の最終欄に「用済みに付き職を解く」の烙印を押されてから、14年の歳月が流れた。世間の評はともかくとして、昨今の学校教育現場は大変である。どう大変なのかと問われれば、24時間「教師」でなければならず、すべてに亘って神経を廻らせ、ただただ多忙であるとしか答えようがない。病気になどゼツタイ罹ってはならないのである。

若い頃、ある年の卒業式も間近になって、流感に罹ってしまい、家には電話もないため、家人に頼んで高知駅の公衆電話から勤務校へ連絡を取ってもらった。その夜、教頭先生から電報が届けられた。なんと、電文は「ガッコウヘクルナ」であった。

高熱に苦しんでいた私は、跳びあがるほど驚き、たちまち熱が冷えていったのである。当時やっと正式採用になったばかりだったので、大事な時期に流感に罹るとはなにごとかと叱責されたと思い込んで、慌てて翌日、マスクを二重にかけてふらつきながら出勤したところ、校門には臨時休校のポスターが貼られてあっ

た。教頭先生は「ようけ先生が流感に罹ったので、金がかかるき短い電文を考えるに苦労した。おまさんは早ように治って良かったのう」と、満面の笑顔で労ってくれた。

顧みれば40年近い教職生活のなかで、まずまず健康に恵まれ、職務に全力を注ぐことができたと自負していたのだが、定年退職後、高血圧症に罹ってしまった。ついにお家芸の発症かと心配しながらも、来るべきものがやはり母方の血筋から来たという、不思議な懐かしさを感じていた。

だが、現実にはたびたび深夜に救急病院へ行かねばならず、一通りではない。なぜか病院へ着く前に気分が良くなり、処置室で待機してくれた先生が、ちょっと曇った面持ちになり、「澤田さん、今度来るときは、もうちょっと様子を見てからにして下さいね」といわれた。私は人生の物事に関して常に「冷静沈着」を旨としているが、病院の先生の前だけは、幼児の如く縮こまってしまう。

乞!熱烈応援

よさこい精神で チームの絆を

近森病院呼吸器内科科長
中岡 大士



リハビリ大学医学部より卒後節目の10年。長崎大学・熱研内科から近森病院に着任してから2年目となった今年度は、よさこいチーム「ちかもり」に踊り子としてチャレンジし、高知の熱い文化とよさこい精神をこの上ない形で体験することができました。

チームに集った多職種の仲間や応援くださった皆さんとの絆でチームワークを深め、呼吸器・感染症診療を更に盛り上げていきたいと思ひます。

なかおか ひろし

母心で接し

近森病院救急科科長
竹内 敦子

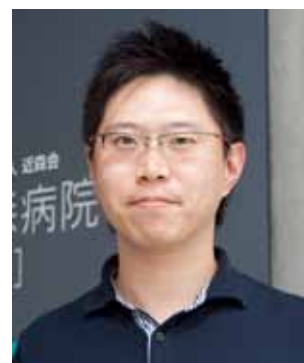


医師になって12年目になりました。途中妊娠、出産が2回あり、高橋先生、根岸先生をはじめいろいろな方々のご理解とご協力で何とかやってこれました。昨年からは初期研修医制度でER研修が必修となり、いろいろな研修医に接することも増えていますが、これまでの恩返しのため、研修医の元気に負けないように自分自身の技量も向上させながら、研修医にも母心で接していきたいと思ひます。

たけうち あつこ

責任を持って

近森病院医療相談室
医療福祉部ソーシャルワーカー
主任 高原 優

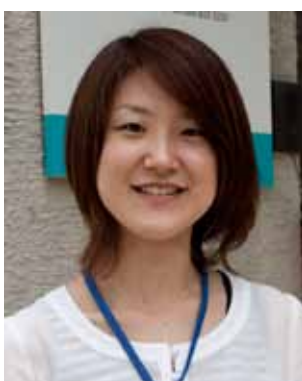


今年度、近森病院相談室は5名の新人が加わり14名の所帯になりました。私が就職したときは7名でしたが、それが今や倍。これまで主任が不在であったため、上司一人がすべての負担を背負って来ていました。今後は主任として上司の力になれるよう職責を果たすと同時に、救命救急センターの一員として、入院初期から患者さん、ご家族の支援を積極的に行えるよう力を尽くしたいと思ひます。

たかはら ゆたか

基本を忘れずに

地域生活支援センターこうち
医療福祉部ソーシャルワーカー
主任 西内 絵里沙



この6月に、来年4月から施行される「障害者総合支援法」の概要が交付されました。地域福祉を取り巻く制度、環境は大きく変わってきましたが、利用者にとって必要なことは一人ひとりに合わせた支援だと思ひます。地に足のついた支援を、一緒に働く仲間や地域でかかわる皆さんと共に考え、情勢にもアンテナを張りながら努めていきたいと思ひます。

にしうち えりさ

一緒に考える場所に

近森病院第二分院医療相談室
医療福祉部ソーシャルワーカー
主任 矢野 美和



育休あけに精神科に配属となり早4年となります。分からないことばかりのなかで患者さんからいろいろな人生を教えていただき、異動が自分にとっても大きなきっかけとなりました。周りの皆さんに教えていただくことばかりですが、患者さんが、よりその人らしい生活がおくれるように常に一緒に考えていける相談室でありたいと思ひます。

やの みわ

新たな環境でスタート

近森リハビリテーション病院医療相談室
医療福祉部ソーシャルワーカー
主任 池田 佐和子



近森リハビリテーション病院で5年、近森オルソリハビリテーション病院で3年の貴重な経験をさせていただきました。

同時に、近森病院への部署異動となり、新しい環境で、どのような役割を担うことができるのか、責任の大きさを感じ、不安もありますが、まずは目の前にあることを全力でさせていただきます。と思っています。

いけだ さわこ

ビオラのように

近森リハビリテーション病院
リハビリテーション科医師 山本 亜希



晴れて後期研修医となり、現在は近森リハビリテーション病院でリハビリテーション医として勉強中です。女性医師も多く、リハビリの勉強はもちろん、子育ての悩みまで相談できる、何ともフレキシブルな職場です。

話は飛びますが、私は大学生時代に管弦楽団でビオラを担当していました。バイオリンやチェロのように華やかで存在感抜群！ではないですが、それぞれのパートが奏でる音を橋渡しする、そんな縁の下の力持ちのパートで

ず。人間の声にいちばん近いといわれる音を出す、渋い楽器なのですが、裏方ばかりではなく、ときには表に出てその渋さを響かせます。

リハビリテーションの医師は、オーケストラのなかのビオラに似ていると感ずることがあります。一般の方が医師と聞いて、真っ先に名前が挙がることは少ないと思います。ほとんどが急性期の仕事を思い浮かべるのではないのでしょうか。

私たちは急性期後のリハビリテ

ーションを担当する縁の下の力持ちです。様々な職種の方々と繋がりをもち、リーダーシップも発揮しつつ、どうやって在宅復帰につなげるか、日々模索しています。裏方のように表舞台の、渋いパートです。

やまもと あき

2012年7月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	17,983 人
新入院患者数	842 人
退院患者数	827 人
近森病院	
平均在院日数	14.25 日
地域医療支援病院紹介率	93.16 %
救急車搬入件数	450 件
うち入院件数	239 件
手術件数	415 件
うち手術室実施	270 件
→うち全身麻酔件数	172 件

● 平成 24 年 7 月度県外出張件数 ●
件数 73 件 延べ人数 117 人

ハッスル研修医 2012

社会人最初の夏



初期臨床研修医
楠目 宝大

研修が始まって数ヶ月、やっと仕事に慣れてきました。分からないことが多く、右往左往していましたが、周りのスタッフの方々の支えもあって、無事ここまで研修を続けてくることができました。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

さて、京都から高知にやって来て今年で7年目です。目の前に広大な海が広がっていることに感動したことが懐かしく感じられます。縁があって大学でヨット部に入ってから毎週のように海に行っていました。ヨットって手で漕ぐやつ？ってよく言われますが、それはボートで、ヨットは風の力のみで進むものです。

自然を相手にし、他のスポーツとは違った面白さが味わえるので、ぜひいちど体験してみたいかでしょうか。そういう自分は夏真っ盛りにも関わらず全然海に行けていません。最近では外来センターと病棟を行き来する間、夏の暑い日差しを受けながら、海に行きてー、と心の中でつぶやいています(笑)。

くすめ たかひろ

ザ・RINSHO 3 臨床検査部

細胞診とは？過去と現在

近森病院臨床検査部
主任 橘 知佐

2011年導入の自動免疫染色装置



人間の身体は約60兆個の細胞があり、これらの細胞は日々正常に決められた通りに生きています。しかし60兆個もある細胞の一部が何の秩序も持たず

熱烈応援の続きです。

まだまだ勉強を

高知ハビリテリングセンター
事務担当主任
中山 るみ



右も左も分からないままのスタートで皆様にはご迷惑をかけてきました。周りの方々に助けていただきながらなんとか現在に至っていますが、まだまだ勉強なくてはならないことがあります。皆様に認めていただけるよう日々精進していきたいと思ひます。

なかやま るみ

に増え続け、ほかの正常細胞の邪魔をする。それが「がん細胞」です。

細胞診とは細胞検査士が喀痰や尿、体腔液、乳腺、甲状腺、リンパ節などの様々な検体から日々顕微鏡でがん細胞を見つけています。

始めた当初は、パパニコロー染色や各種特殊染色、手法での免疫染色で鑑別していましたが、2011年の「自動免疫染色装置」の導入により、組織診、細胞診標本で、さらに精度の高いがん細胞の組織型鑑別が可能となりました。

組織採取が難しい症例では細胞を採取しセルブロック、細胞診標本を作製、形態学的な鑑別とあわせて免疫染色も行い必要に応じて遺伝子検査へ提出しています。また、術中採取した組織からのスタンプ標本や内視鏡的に細胞採取された細胞診標本で、診断に耐えうる細胞が採取されているかどうか、がん細胞があるかどうかの迅速細胞診も行っています。

たちばな ちさ

札幌からお二人の先生をお招きして



近森病院第二分院
作業療法室室長 山内 学

7月13日(金)に札幌からお二人の先生をお招きして講演会を開催しました。1部の長谷川直実先生による「地域・デイケア・病院の連携のあり方」では、デイケアで新しい試みを取り入れていくためには、スタッフの就労に取り組む視点を養うことが大事であり、柔軟性と専門性がカギとなると

教えていただきました。

2部の山田秀世先生による「就労にいかす森田療法」では、リワークを中心に森田療法を用いることで、リハビリへと繋げていく臨床の知を、豊富な経験談よりお話いただきました。

今回学んだことを今後臨床の場に生かしていきたいと思えます。

院内外から106人もの参加者が集まり、盛りだくさんの講演内容に好評のご意見が数多く寄せられました。

今回の講演会がリワークへの道しるべとなる試みの第一歩として、札幌のお二人と高知の宮崎副院長の連携が深まる事ことで、今後ますますネットワークが広がることを期待しています。

やまうち まなぶ

▶「就労にいかす森田療法」について講演する山田秀世先生



◀柔軟性と専門性がカギと話す長谷川直実先生

リレーエッセイ

裏方の存在……

近森リハビリテーション病院リハビリテーション部
理学療法科理学療法士 今田 智大



近森会グループに就職して早5年目になりました。まだまだ先輩方に助けを求める場面が多いなど反省する毎日です。

そんななか、就職してから様々な方と出会い素晴らしい経験をさせてもらっています。その中でも、よさこいチーム「ちかもり」では参加3年目となり今年は実行委員としてチーム作りから関わりました。委員会では議題について皆で話し合いますが、踊り子さんを第一に考えて下さるなど、これまでこの様な配慮があった

ことを何も知らずにいたんだなと会議の度に感じたことでした。

しかし、よくよく考えてみると職場でも同様に、先輩方が話し合っただけで働きやすい環境を作ってくれていることに気がきました。こうした裏方の存在や苦勞を知った今、私に関わりのある方々に対して感謝する気持ちを持って行動しようと思っています。

これからも素敵な出会いと経験ができるよう自ら進んで色々なことに挑戦し、医療従事者として、そして人として一步一步成長できるよう努力していきたいと思えます。

いまだ のりたか

管理部長の

こだわりヘルシー美食 29

近森会管理部長 川添 昇

昨今は領土争いで隣国とは喧しいが、美味しい物には国境はない。1年振りに手に入れた中国産の松茸はコストパフォーマンスも充分で、早速買って具



沢山の松茸ご飯を作ってしまった。

これに版画家の山本容子さんの簡単レシピのステーキを焼いて食した。「スパークリング」の意味はご本を取り寄せて確認したいと思っている。これを紹介したイラストレーター矢吹申彦氏の「おとこの料理讀本」は見ているとに楽しい。思わず作ってみたいくなる。

「スパークリングステーキと松茸ご飯のコラボ」



画・臨床栄養部科長 吉田 妃佐

〈作り方〉

- ① 赤身のステーキ肉をバターや油を引いていないフライパンでそのまま焼く
- ② お好みの焼き加減で一口大に切り分け
- ③ 皿に食塩や粒胡椒、パセリ、ニンニクや生姜のスライスなどの薬味と共に適当な大きさに切って載せる
- ④ 松茸ご飯はご随意に作ってください

〈食べ方〉

ステーキを塩・薬味を付けて口の中に投入する。

シンプルだが牛肉本来の味が出ていて、粒胡椒の苦味、辛味が効いている。ウーム容子さん仲々やるわいと思ながら松茸ご飯を一口パクリ。旨い!

なんというコラボレーションか。松茸の香りと味とご飯の甘みがステーキと混じり合って極上の旨味をかもし出してくれた。松茸のスキヤキよりずっと上品だと思う。

そのままキリリと冷した吟醸酒を口に含むと、しばし至上の悦びに浸してくれる。

年に1回の、こんな幸せは絶対にバチは当たらないと思う。

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院から人事交流研修中の薬剤師 山城奈央（なお）さん

はっらっ 澆刺と薬剤部の研修生

研修のスタートは調剤室の調剤から



ダイビングライセンス取得の時、最高のダイビング日和で、海はめちゃめちゃ綺麗でした(右)☆



8月に那覇の国際通りで開催される「一万人エイサー」で(最前列)。就職2年目から毎年出てます(笑)



恩納(おんな)村の道の駅で「マンゴーかき氷!」。ガイド本でよく紹介されてます!

知識の補強に努めたい!

3カ月間のこの研修はもちろん自ら志願した。自宅から通える浦添総合病院に、新卒で就職して5年、「薬剤部に関しては、ほぼわかってきたかな」と周りを見回す余裕ができてきた。すると「知識の偏りや経験不足を感じてしまう部分が出てきて、それを補い、また補強するためにも広い世界を眺めてみたいと考えた」のが、今回の近森会への研修のきっかけだった。

病院で働いているとはいえ、自分の関係部署以外で、「堂々と患者さんと接する機会はありませんし、薬剤部以外の仕事についても意外と学ぶ機会が少ない」のが現状だった。

しかも「期間限定で他の病院が見られるのは願ってもないチャンス」だからと、薬剤部の研修生になった。

大好き!な薬剤師の仕事

中学校は地元のミッションスクールで学び、公立高校を卒業して薬学部に進んだ。小さい頃から母親に「薬剤師はいいよ」と、折に触れて聴かされていたため、大好きな母が薦めてくれたのだったらと、「余り深く考えず偏差値に見合う某国立大学の薬学部を受験した」。残念ながら不合格で私立の福岡大学に進んだが、自由に伸び伸び学べる環境はむしろ合っていたと思えた。

経験が少しずつ増えてくると、「薬剤師しかできない領域」に目覚め、これが薬剤師のプライドなのだと、もともとテンション高く何でも楽しむタイプ

のようだが、ますます薬剤師の仕事が好きになってきた。

患者さんの血中濃度を知りつつ薬剤の投与設計をするのは、「いちばん緊張するがいちばんやり甲斐を感じる薬剤師の醍醐味でもある」と、可愛らしい表情を引き締めて話してくれた。医師に投与案を提案し、その結果、信頼が得られていると実感できるのが、日々の励みになるという。

研修したい項目、どっさり!

精神科は浦添総合病院にはないが、精神科の薬剤が必要な患者さんも少しずつ増えてきている昨今。臨時で使われる薬剤そのものをよく知りたいし、臨時の種類は減らしたい。

また、患者さんの受ける検査項目にしても検査の名前だけを知っているのと実際にどのような検査を受けるのかを薬剤師が知っているのでは、その後の対応にも違いが出てくるのではと、そんな点でも「これからの研修の成果にけっこう期待を持ってるんです」と、研修項目をどっさり説明してくれた。

グレートバリアリーフで潜りたい

病院を一步離れると、ファッションにも食べ歩きにも興味いっぱいの独身時代を満喫するお嬢さんの顔になる。ずっと取りたいと思っていたスキューバダイビングのライセンスは、仕事にも慣れてきたこの5月に取ったし、世界最大の珊瑚礁として名高いオーストラリアのグレート・バリア・リーフの

海に潜ることを当面の遊びの目標としている。

ヨガも趣味なのでヨガマットは高知にも持ってきた。地元の祭りにも毎年挑戦する。散歩も小説を読むのも大好きで、休日のひとりの時間もあっという間に過ぎてしまう。

ところで、研修期間も半分が修了したこの頃、筒井由佳薬剤部長からは「近森会の薬剤部に関わる様々な業務にできるだけ多く関わって欲しいので、フレキシブルにあちこち出没する予定です。各部署の皆さま、後半もお世話になります」とのコメントが寄せられた。

編集室通信

実習の看護学生が帰り際に「憧れの看護師さんに出会えたので、近森に決めました」と話してくれた。苦しい実習で出会ったその看護師は誰……？。私にも大切にしている看護の原点の人がいました。あの頃の自分を思い出し、少し垢のついた自分を見つめるきっかけをもらった。(由似)

● 診療数と出張件数は7面に移動 ●

図書室便り (2012年7月受入分)

- ・ガイドライン外来診療 2012：今日の診療のために／泉孝英（編集主幹）
- ・OS NOW Instruction 整形外科手術の新標準 23手の外科 早期機能回復をめざして／金谷文則（担当編集）
- ・骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2011年版／骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会（編集）
- ・TAYLOR SPATIAL FRAME ver.4.1 創外固定器の基本から最新ソフトウェアまで／土屋弘行（他編集）
- ・緊急度判定システムCTAS2008日本語版JTASプロトタイプ／日本救急医学会（他監修）
- ・臨床・病理 乳癌取扱い規約 2012年6月第17版／日本乳癌学会（編集）
- ・今日の治療薬 解説と便覧 2012／浦部晶夫（他編集）
- ・注射薬調剤監査マニュアル第4版／石本敬三（監修）
- ・平成23年度看護白書 テーマ：看護がつなぐ・ささえる在宅療養／日本看護協会（編集）
- ・基礎から学ぶクリニカルパス実践テキスト／日本クリニカルパス学会学術委員会（編集）
- ・医療現場のクレーム撃退法 法的クレーム処理&ケーススタディ 99／深澤直之《別冊・増刊号》
- ・別冊 医学のあゆみ 抗体医療 Update - 開発コンセプトから最新治療実績まで -／中山俊憲（他編集）
- ・こころの科学 HUMAN MIND SPECIAL ISSUE 2012 中高生のためのメンタル系サイババルガイド／松本俊彦（編集）《視聴覚資料》
- ・臨床力を上げたいすべての医療職のためのDr. 林の笑劇的救急問答 全13巻／林寛之（講師）
- ・Audio-Visual Journal of JUA Vol.18 No.3／日本泌尿器科学会（企画・監修）
- ・VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery Vol.19 No.1／永田泉（他企画・監修）